

対話を重ねて未来を描く

市民参加型ワークショップ

「自動運転のある暮らし」の記録

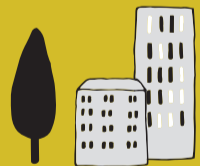
自動運転の これからのについて、 話し合いました。



暮らしの中で
どのように
活用したい？



社会の思わぬ部分にも
変化が・・・？



2018年12月9日(日)、京都府立京都学・歴史館において、市民参加型ワークショップ「自動運転のある暮らし：誰もおいていかない移動のデザインとその倫理」を開催しました。この日の参加者は20人で、5つのグループに分かれて議論を進めました。それぞれのグループでのファシリテータは、STiPSで学ぶ大学院生たち8人がつとめました。これは、そのワークショップの記録です。